

令和7年度 学校関係者評価（学校評議員）

<A：大変良い B：だいたい良い C：不十分である>

評価者	意見・要望・感想等	総合評価
1	福岡区民にとっても高校の敷地内は入りにくいものがある。今年度、学校評議員として学校活動を見ることができたが予想外であった。見せてもらわなければ分からないことが多いと感じる。今後も地区と学校が仲良く、上手く関係を継続していきたい。	A
2	転退学者数の人数から、日頃からしっかりとした指導をしていることが伺える。実際にとっても充実した授業を展開されていると思っている。授業の様子を見ると生徒の興味が増すと思うので、見学の機会を設けることが出来れば多勢参加させたいと考えています。物作りについては中学校でも体験させたいところです。	A
3	今年度もさまざまな取り組みが進められ、生徒の皆さんの学びや生活が着実に支えられてきたと感じています。先生方のご尽力に感謝申し上げます。 地域の皆さまとのつながりや、企業さまとの協力関係が深まっていることは、この学校の大きな魅力だと感じています。地元を支えられながら生徒が育っていく姿は、とても心強く思います。 今年度も、先生方が生徒の成長を温かく支えてくださってきたことを、評議員として心からありがたく思っています。地域とともに歩む工業高校として、引き続きよろしく願いいたします。	A
4	駒工ファイターズが取り上げられたニュースを見た。衣装の製作に3Dプリンターを活用している点など興味深く見ている。電気工事士の実技指導をしていると、生徒はみな真面目に取り組んでいて合格率アップに繋がっている。しかし、中学生にとっては駒工で何をやっているのか分からない。工作の機会も少なくなっており、イメージが持てないのではないかと。	B
5	生徒一人ひとりが学習・実習に取り組み、力を合わせて作り上げている姿には保護者として感銘を受け、同時に先生方に感謝申し上げます。後世に残すべき工業高校とっております。南信・上伊那の産業を支えていける生徒さんを多く卒業させて下さい。私たち保護者も今後も協力させていただきます。	A